

消防訓練

アウルコート真駒内では年に2回、消防訓練を行っています。昨年11月24日(金)には、入居者様の居室から火災が発生したとの想定で、火災時の行動をシミュレーションしました。

訓練当日は本物のサイレンを鳴らすので、入居者様には事前に説明をし、驚かれないように配慮。これまでに何度も行っている訓練ですが、参加の職員は緊張感を持って臨み、万一の場合に自身が果たすべき役割を再確認しました。



①火災検知により館内放送で火災発生をアナウンス

②アナウンスに従い、全職員がそれぞれの役割に従って行動開始



③入居者様役の職員を車いすで搬送し、全員が避難場所に指定されていた2階多目的室に集合



④各職員が施設長に自身が対応した状況を報告



鬼役なのに場を和ませ、皆様にかわいがられていたリリコ(右)

スタッフ リレーエッセー

桜の季節

だいぶ暖かくなりましたね。そろそろ桜の花が咲く季節になり、今年もアウルコートの中庭にきれいに咲く桜を見られると思うととても幸せです。



介護職員 三木伸子

桜を見ると、私は介護の仕事を始めた頃に会った方を思い出します。その方は「私、桜は嫌い。子供達は皆、桜の季節に私の所からいなくなるんだもの。偉くなくてもいいの。普通でいいのよ。人生なんてあつという間なんだから」と話をしてくれました。その方の言葉は、今も強く心に残っています。桜が咲くのは、ほんの一瞬の事、人生もまた同じだという事。少しでも一緒に時間を過ごせたのは、私にとってとても幸せな事でした。

今年、入社2年目の春です。皆様と出会い、そして別れもありました。常に気を配って励まして下さった方、厳しく接して下さいました方、本当にありがとうございます。皆様との出会いを大切に、仕事をさせていただけたら幸いです。これからもよろしくお願いいたします。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内

検索

<http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家

その43
2018年4月

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



12年目の春を迎えて

代表取締役 武田 治信

アウルコート真駒内はお陰様でこの4月で12年目に入りました。平成19年4月から早12年もたったことに驚きを覚えます。時の経過は人にとりいろいろなことを感じさせてくれますが、特に今年は節目の年として過去のさまざまな記憶に思いをはせる機会も多くなりそうです。

まず、今年は明治元年(1868年)から150年の年として、「明治150年」を記念するさまざまな行事が企画されています。50年前の明治100年は私が高校に入ったころでした。昭和天皇陛下と当時の佐藤栄作首相が出席した記念式典が行われ、とても荘厳だったことを覚えています。また、今年は蝦夷地が北海道と命名されて150年目ということで、「北海道150年」の記念事業が開催されます。さらに、青函トンネルが今年で開業30年です。かつて津軽海峡の横断は4時間

かけた船旅でしたが、今や25分ほどで上陸できるそうで、驚くべき時間短縮は日本人の卓越した技術のなせる技でしょう。

日本人の活躍といえば、この冬開催された平昌オリンピック・パラリンピックの成績は素晴らしいものでした。4年前のリベンジを果たした高木美帆氏、高梨沙羅氏はもちろん、羽生結弦氏、宇野昌磨氏の躍動感あふれる演技と精神力の高さは本当に見事でした。切りのよい節目の年にはありませんが、札幌冬季オリンピックから今年は46年目。ウィンタースポーツの魅力を存分に楽しませてくれたアスリートたちに、改めて拍手を送りたい気持ちです。

いろいろなものを見て聞いて感動し、12年目の今年もまた皆さまと、旅するように暮らし続ける日々していきたいと思うこのごろです。

新たな年に願い

今年もアウルコート真駒内ではお正月ならではのさまざまな行事を行いました。今年は職員一同で年中行事が持つ意味を今一度確認し合い、幸せを願うための儀式という原点に立ち返りました。

そのむかし、ひとが病気やケガをせず健康に生きていくことは今よりずっと難しく、人々は1

年の節目ごとに家族や親類縁者の健康と安全を祈ってきました。日本の家庭で受け継がれてきた伝統的な年中行事の多くが、無病息災、家内安全、五穀豊穡を祈るためのものである所以です。

この思いは現代にも通じます。入居の皆様がこの1年を健康で安全に過ごせるようお願いながら、今年も彩り豊かなアウルの歳時記をつづります。

1/1(月)
元日のごあいさつ
元日のお楽しみは、御神酒、お赤飯、伊夜日子神社のおみくじ。



1/2(火)
新春ゲーム
北海道独特の百人一首やかるたで、ゆったりと過ごす時間。



1/7(日)
七草がゆ
普段レストランで朝食を取らない方も、七草がゆだけは特別。



2/3(土)
節分
いろいろなお豆を用意。療養中の方にはお部屋まで鬼が出張。



1/11(木)
鏡開き
粘りが少なく食べやすいおもちを使ったおしるこに舌鼓。



この1年を無病息災で過ごしていただくために 思いを紡ぐ新春の年中行事



アウルの四季彩々日記



●昨年11/29(水)

「アウルズ・バー」登場

訪問理美容さんのご提案で一日限りのバーと雑貨店が開店。飲み物はノンアルコールのみですが、素敵な雰囲気に普段水分が不足しがちな方もグビグビ飲んでくださいました。



●1/24(水)

アウル膳、寄せ鍋の夕べ

アウル膳の冬の定番その1はお鍋。1月は味噌仕立ての寄せ鍋を、大勢でわいわい賑やかに楽しみました。野菜、海鮮、肉団子と具材は多彩。おかわりうどんが大好評でした。

●昨年12/23(土)

華やかにクリスマス会

例年以上に力を入れた飾り付けと、バンド生演奏や特別メニューでムード満点。「うちより豪華で楽しい」とご家族。昨年ご入居の方のうれし涙。記憶に残る日になりました。



●2/22(木)

アウル膳、人気のお寿司

アウル膳の冬の定番その2。冬場だからこそお出できるお寿司で、好きなネタのおかわりをその場で握ってもらいました。一番最初に品切れになったのは鯛でした。

